

コロナに負けるな！
元気・根気・やる気
楠橋小学校

楠橋

＝ 共 育 ＝

学校だより第16号
令和3年7月20日

北九州市立楠橋小学校
校長 戸田 堅

一学期終業式

7月20日（火）は、一学期の終業式でした。本来ならば、運動場や体育館で終業式は行いますが、この日は朝からとても暑かったので、校内放送で終業式を行いました。終業式では、この夏休みを有意義に、そして安心・安全に過ごすために、日頃から学校で取り組んでいる「あいさつ」「いのち」「そうじ」を、家庭でも取り組むようにとお話をしました。



抗菌コーティング

7月16日（金）17日（土）に、ウイルスや細菌の増殖を抑える効果がある特殊ガラスコーティングを昨年末に引き続き塗布していただきました。今回は、トイレや水道、手すりなどの他に、教室の机やイス、配膳台までコーティングしていただきました。



全校で平和を願う会 7月20日（火）

楠橋小学校では、戦争の悲惨さや生命の大切さに気付かせ、平和を願う心を育むために、全校で平和を願う会をしています。本年度の読み聞かせ教材は、「八文字焼に思いをこめて」です。

今から、76年前の八幡大空襲では、無差別焼夷弾攻撃により八幡駅近くにあった小伊藤山公園の防空壕に避難した、児童生徒、引率教員、市民など約300人が、猛烈な火炎や吹き込む煙で蒸し焼き状態となり亡くなりました。この大空襲で亡くなった人たちの思い、二度と戦争のないようにと祈りを込めた八文字焼が、皿倉山で毎年8月8日と13日～15日の間に行われています。児童たちは、真剣な眼差しで先生方が作成したビデオを見ていました。

